

鶴三支部のトレードマークです。



「ウッピー」

ふれあい

第55号 平成14年7月15日

編集・発行 各務原市社会福祉協議会 鶴三支部
沼第三連合支部 広報委員会 活動報告

社協のマークです



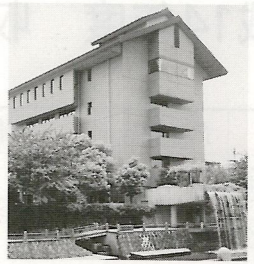
福祉の心を育てよう

6月12日

参加人数24名

友愛メンバーと大垣市の18地区の内の北地区 ボランティア部会の食事サービス会場訪問研修

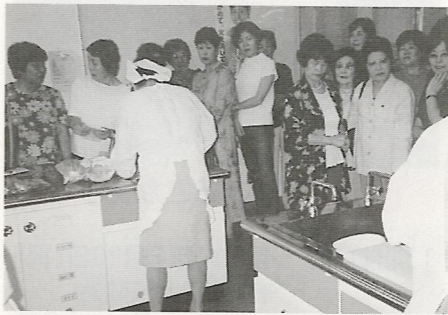
広報委員長 森 博幸



次に北地区活動起点の大垣市青年の家に訪問研修。

大垣市は地域住民の共同意識と連帯感を育てる為、一人暮らしの老人に対する地域での援助体制を作ることを目的に婦人会中心に給食サービスを開始し、十四年度から始めた。

この食事サービスの状況は月四回、毎週水曜日にA・C班は順番に夜の食事サービスを、さくら会のみ昼の食事と老人を会場に招待し一緒に会食スタイルで食事で実に細



最初に大垣市総合福祉会館訪問。写真上の建物で、ホテルの広がりが出てきている。又、ここは容器が最初からランチジャーで進めてみえる。御老人に温かいご飯、温かいみそ汁と心のこもったサービスを心掛けてみえる事。研修後食事を作っている所を見学したが全員が設備の大きさと、菌切れの良さと、短時間で作られ、すぐ配食とロテーションの早さにビックリ。



五月二十三日、本年最初の配食。

今回今まで最高の六十三食の配食にあゆみの会メンバー十一名が参加。

朝八時より材料の吟味、炊き出しにワイワイガヤガヤと日頃の力を出して「皆様喜んで食べていただければ」又、メンバーの中で若い方は「たいへん料理の勉強になりました。自分のためにもとても良い事をした気分でした」



メンバー様。配食が出来た喜びとでホッとした気分でした。広報の私こと森も最高に試食させて頂きましたが、ご飯もほど良くやわらかく、食材も味が良く出来ていて年配の方でも、まごころの御食事が出来たのではと思ったのは私だけでは無いと思います。

「社協の発展を願って」

社協鶴三連合支部長 太田 育夫



三月に本年度支部長のお話を承った折から「福祉」という言葉にこれまでになく目が止まるようになりました。高齢者たちよ、世の中の主役

になる。と、言うテーマのある集いの中で、「したことのないことをやれ！」と呼びかけた言葉がありました。未知の分野に身を置こうとしたとき、勇気と勉強が必要である。そしてそれは自分を見つめなおす好機となり、年齢を問わず更なる成長があるというのです。期せずして社協支部長という経験のない大役を不相応と重荷に感じていた時期でしたので、この言葉は私自身に投げかけられたように思われ、改めて少しでもお役に立てるよう、微力ながら一杯努力しようとした次第です。

期首の総会をさきみ約二ヶ月の間、福祉にかかわる様々な方にお話を伺う機会があり、皆様の活動の広さ、経験豊富な知識に敬意を表すると同時にそのエネルギーに驚嘆しております。世間では少子化、高齢化が問題として叫ばれ、何事も自己責任という重苦しい風潮にもなっております。しかしながらそのような現状をマイナス思考で捕らえるのではなく、諸先輩方が積み上げてこられた地域発信の地道な活動を継承し、その輪を発展させてゆくことができれば、必ずや元氣のある明るい環境が育つものと確信しております。皆様の一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年度 事業計画

3	2	1	12	11	10	9	8	7	6	5	月
15	20 6	23	12 15	17	30 27 24 6	26		20 15 6	27 12	23 18	日
総会・理事会	ひとり暮らし配食サービス活動	ひとり暮らし配食サービス活動	ひとり暮らし配食サービス活動	ひとり暮らし配食サービス活動	地域福祉座談会(囲む会)	市民運動会協賛	寝たきり老人介護者・身体障害者・高齢者世帯配食サービス活動	寝たきり老人介護者・身体障害者・高齢者世帯配食サービス活動	寝たきり老人介護者・身体障害者・高齢者世帯配食サービス活動	寝たきり老人介護者・身体障害者・高齢者世帯配食サービス活動	総会・理事会
	ひとり暮らし配食サービス活動	ひとり暮らし配食サービス活動	ひとり暮らし配食サービス活動	ひとり暮らし配食サービス活動	ひとり暮らし配食サービス活動	ひとり暮らし配食サービス活動	ひとり暮らし配食サービス活動	ひとり暮らし配食サービス活動	ひとり暮らし配食サービス活動	ひとり暮らし配食サービス活動	内容

社協会員募集

ご理解・ご協力を!
(8/1~8/31)

各自治会を通じ、一般・特別会員募集を行います。

一般会員	
年額	500円以上
特別会員	
年額	1,000円以上



ふれあい委員会

ふれあい委員長 高橋睦明

毎日厳しい暑さが続いております。皆様におかれましても益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

平成十四年度のふれあい委員長を引き受けて、早四ヶ月が経とうとしております。何も分らない状態から始め、諸先輩方の助けをお借りしながら手探りの状態でやってきました。今年度のふれあい委員会の活動としては、『親子ふれあいの会』、『第十六回ふれあいフェスティバル』、『赤十字献血』を予定しております。

『親子ふれあいの会』は、昨年度まで『親子ふれあい映画会』と呼ばれていましたが、今年度より『親子ふれあいの会』という風に改名されまして、映画に限らずもっと幅広い活動が出来ることとなりました。しかしながら、何分準備不足でございまして、突然何か新しいことをやるという風には行きませんでしたので、今年度も引き続き、映画の上映を行うこととなりました。御諒承頂きたいと思っております。また、将来に向けて何か良い御提案がございましたら、是非ふれあい委員会に御提言頂ければ、幸いに存じます。

『第十六回ふれあいフェスティバル』は今年度は、十月二十七日(日)に鶴沼第三小学校にて開催の予定です。現在、詳細につきましては内容を詰めています。例年通り、多数の皆様に参加して頂き、また、楽しんで頂けるよう万全の態勢で臨みたいと思っております。多数の皆様のお越しをお待ちしております。

『赤十字献血』につきましては、昨年度は『ふれあいフェスティバル』と同時に開催で、多数の皆様にご協力頂きましたが、今年度は諸般の事情により、年明け後成人式の後、一月十九日(日)を予定しております。冬期は、献血して頂ける人の数も減り、その時期に献血して頂くことは、大変貴重でありがたいことです。振るって御参加下さい。お待ちしております。

ふれあい委員会の活動は、まだ始まったばかりですが、まずは、間近に迫りました『親子ふれあいの会』に多数の方の御参加をお願い致します。これからも、皆様の暖かい御理解と御支援を賜りますようよろしくお願い致します。

平成14年度 収支予算

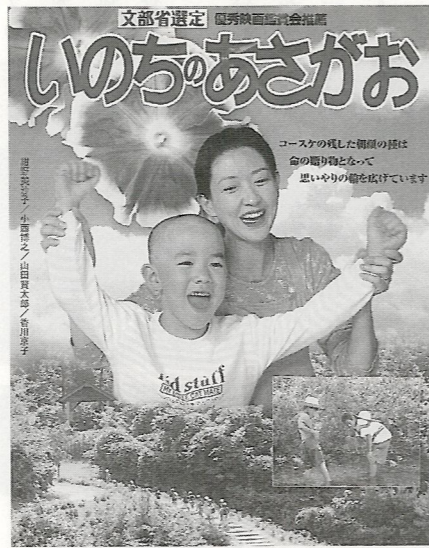
収入の部		単位：円	
	予算額(円)	備	考
前年度繰越金	1,134,089		
支部交付金	600,000	平成14年度社協会費納入額×40%	600,000円
メニュー事業助成金	406,000	配食サービス 200円×450食 90,000円 親子ふれあいの会 16,000円 ふれあい印刷費：平成14年度社協会費納入額×20%	300,000円
その他の助成金事業等	85,000	高齢者を囲む会(福祉座談会) 1,000円×85名	85,000円
各区協力金	340,000	各区負担金(100円/1戸)	
利息	300	預金利息(JA)	
雑収入	127,000	個人負担(配食サービス)200円×450食 90,000円 研修他：500円×74名	37,000円
合計	2,692,389		

支出の部		単位：円	
	予算額(円)	備	考
総務委員会	100,000	事務費・印刷費 50,000円 体育振興会協賛費 50,000円 (市民運動会：30,000円、軽スポーツ交流会20,000円)	
広報委員会	450,000	事務費・印刷費 50,000円 広報紙「ふれあい」印刷費 400,000円	
友愛委員会	839,500	事務費・会議費・印刷費 100,000円 高齢者を囲む会(福祉座談会) 年1回(1,500円×85名) 127,500円 配食サービス 年8回(600円×450食) 270,000円 厨房備品費配食消耗品費 60,000円 活動費(講師料他) 115,000円 ボランティア研修費 年2回(80,000円×2回) 160,000円 ボランティア保険費(100円×70名) 7,000円	
ふれあい委員会	590,000	事務費・印刷費・会議費 100,000円 親子ふれあい映画会 65,000円 第16回鶴三ふれあいフェスティバル 400,000円 赤十字献血 25,000円	
予備費	100,000		
小計	2,079,500		
翌年度繰越金	612,889		
合計	2,692,389		

平成14年度 福祉ふれあい事業基金

区分	金額(円)	備考
前年度繰越金	474,818	郵便局

親子ふれあいの会 開催!!



「いのちのあさがお」

- 1.開催日時 平成14年7月20日(祝) 午後7時上映開始 午後8時30分終了
- 2.場 所 鶴沼第三小学校体育館
- 3.上映映画 「いのちのあさがお」 「忍たま乱太郎」
- 4.駐 車 場 鶴沼第三小学校校庭と運動場



新作です 「忍たま乱太郎」

社協の主要事業

社協基盤強化

- ・理事会、評議員会の開催
- ・福祉のまちづくり委員会等の開催
- ・自主財源の確保
- ・事務局体制強化

地域福祉事業

- ・地域福祉活動計画策定
- ・支部社協活動支援
- ・ふれあいいきいきサロン推進
- ・ボランティアハウス支援
- ・福祉カー貸出事業
- ・心配ごと相談所の運営
- ・低所得者援助事業
- ・共同募金への協力

ボランティアセンター事業

- ・情報提供、相談・支援
- ・各種養成講座の開催
- ・情報紙の発行
- ・福祉教育活動

総合相談・利用援助事業

- ・基幹型在宅介護支援センター
- ・地域福祉権利擁護事業
- ・各種相談、福祉機器貸出

在宅福祉サービス

- ・居宅介護支援事業
- ・ホームヘルプサービス事業
- ・訪問入浴サービス事業
- ・老人デイサービス事業

社会福祉協議会には、このような事業を地域住民や地域福祉を推進する団体及び行政などの参画を得て構築していく特性があり、従来から培った地域福祉活動や住宅福祉サービスの推進を基盤に、事業強化を図っていきます。

乞うご期待

第十六回 鶴三ふれあいフェスティバル開催について
今年も各自自治会・組織による模擬店の出店があります
☆日 時 平成十四年十月二十七日(日)
9時～15時
☆場 所 鶴沼第三小学校